

秋季防災訓練（放課後・地震想定） 防災訓練

11月10日（金）放課後、地震を想定した避難訓練を実施しました。部活動中の時間だったので、先生が不在の状態です。戸惑った人もいたかもしれませんが、みなさん真剣に取り組んでいたようです。

今回は気温の低下を踏まえ体育館への避難でしたが、一次避難場所はグラウンドです。校舎マップで避難経路を確認してみてくださいね。ちなみに、講評では千葉先生に東日本大震災発災の3月11日当日のお話をいただきましたが、当日は職員玄関前に集合し安否確認をしたそうです。避難指示は放送で行いましたが、実際は放送機器が使えなかったり、グラウンドでは放送が聞き取りづらかったりするかもしれません。「命を守る」ということは絶対にぶれないことですが、災害が起きたときは臨機応変な対応が必要です。どんな状況であっても命を最優先にする行動をとってください。



↑ 部活動中の避難の様子



↑ 安否確認の様子

放課後の訓練は生徒と学校両方からのアイデア

10月6日（水）放課後、有志の生徒3名がワークショップ形式で避難訓練の内容を考えました。想定として「地震が起こる」ということのみを前提に、「地震“+α”」でどんなことが想定されるかを付箋を使ってアイデアを出し合いました。実際に、

- ・ 休み時間や放課後を想定する（先生不在でも避難）
- ・ 教室以外の場所にいることを想定する
- ・ 地震による火災や大雨の中の避難を想定する
- ・ 避難経路が使えないことや物が倒れることを想定する
- ・ 電気や水が使えないことを想定する
- ・ ケガ人や動けない人が出るのを想定する

避難訓練の想定を
考えてくれたみなさん

2年 佐々木悠貴さん

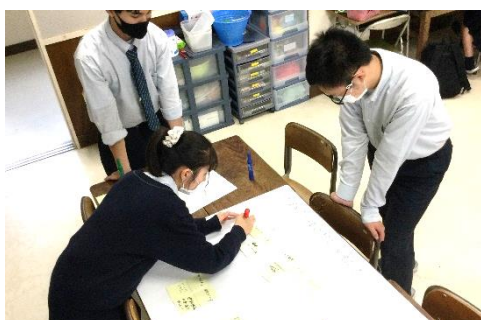
2年 門脇珠央さん

3年 佐藤幸太さん

などの意見が出ました。学校の年間予定ではもともと秋季防災訓練は放課後の時間で実施する予定でしたが、参加生徒のみなさんの意見も参考に、今回の訓練を実施しました。

涌高
ふれあい隊
防災チーム

→
アイデアを付箋
に書き出し、似て
いるアイデアを
グルーピングし
てまとめました
（KJ法）



映画『有り、触れた、未来』ボランティアエキストラ

山本透監督の新作映画『有り、触れた、未来』の撮影が、10月に宮城県内で行われました。ボランティアエキストラとして、本校から2年生3名が参加しました。太鼓の演奏の観客役、青い鯉のぼりを掲揚する役として参加したそうです。

震災から10年経った今だからこそ、心の復興をテーマに「青い鯉のぼりプロジェクト」の方々とタッグを組んで、未来の子どもたちに「生きる力」を届けたいと、取り組みだした企画だそうです。原案は、元石巻西高校校長の齋藤幸男さんの著書『生かされて生きる-震災を語り継ぐ』（河北選書）です。

2023年春の全国公開を予定しているそうです。公開されたら是非映画館へ足を運んでみてください。



↑公式サイト



←原案の本

エキストラに参加したみなさん

2年 門脇珠央さん
2年 佐藤愛音さん
2年 島瀬望歩さん

涌高
ふれあい隊
防災チーム

<参加した3名の感想>

- ・その時の状況に合わせて表情を変えないといけないのが大変でした。
- ・寒かったし拘束時間が長かったけど、終わった後の達成感があったのでまた機会があればやってみたいです。
- ・寒くて大変だったけど、津波で流れてきた木で作った木札を首にかけて演奏しているのを聞いて心が温まりました。

教職員防災研修会



～指定緊急避難場所への避難行動と指定避難場所の開設・運営（洪水を中心に）～

9月22日(水)に本校の教職員と涌谷町の幼稚園・保育園・小学校・中学校の防災担当者、町防災部局の担当者が本校に集い、研修会を行いました。本校の学校防災アドバイザーである東北大学災害科学国際研究所教授の佐藤健先生をお招きし、講演をしていただきました。「要配慮者利用施設における避難確保計画のポイント」や「災害に備え、学校と地域とが連携を進めていくためのポイント」について主にお話いただきました。

学校防災だよりのタイトル かっこよくなりました！

書道部2年生の島瀬望歩さんが、学校防災だよりのタイトル「つなぐ」を書いてくれました。島瀬さんは全国総文祭に出場するほどの腕前です。第1号、第2号はパソコンで打ち込んだ正直味気のないタイトルでしたが、島瀬さんに書いてもらったタイトルで見違えるほどかっこよくなりました。



←
タイトル
を書く
島瀬さん

学校防災だよりの
涌高のHPでも見られます。
涌高高校 学校だより

